

マイコアカネ

Sympetrum kunckeli

兵庫県：B

環境省：—

種の概要

腹長19～25mm、後翅長24～31mm程度で、成熟すると目の顔面が青白くなる。主に平地の、ヨシやヒメガマなどの抽水植物が繁茂する池に生息し、未熟な時期もその周辺の草地や疎林で過ごしている。秋になると池に現れ、抽水植物の間などで打水産卵する。卵で越冬し翌春孵化、幼虫は急速に成長して6月ごろから羽化を始める。その後11月まで見られる。



写真提供：青木典司

国内分布

北海道、本州、四国、九州

県内分布記録

神戸市、姫路市、明石市、西宮市、洲本市、芦屋市、相生市、豊岡市、加古川市、赤穂市、西脇市、三木市、高砂市、川西市、小野市、三田市、加西市、丹波篠山市、丹波市、南あわじ市、淡路市、加東市、たつの市、猪名川町、多可町、稲美町、市川町

選定理由

人為性		特殊生息環境	学術性		
個体数激減	生息環境激変		分布が極限	分布の限界	希少
○	○	○			

特記事項

既産地から次々と姿を消している。平地の、抽水植生の繁茂する、明るいため池や水が切れない湿地で生活史を完結する。幼虫期の5、6月にため池の水位が下がって幼虫の生活している抽水植生部分が干上がって減少した例がある。また日当たりのよい大規模湿地にメガソーラーが建設されて姿を消した例がある。さらに平地にあるために周囲の水田からの排水が流入して、汚染や薬剤の影響を受けたりする可能性もある。このように生息地の置かれている状況は厳しいものがある。全国的にみても、減少傾向が報告されている地域が増えている。

保護上の留意点